

# 初心を貫き、責任ある政治を

## 埼玉県議会議員



# なかやしき 慎一

安全で安心な故郷  
彩の国・鴻巣づくり

【討議資料】

<http://nakayashiki.net>

### 平成27年度予算



## 「医療の安心について」



医師不足や医師の偏在が顕著な本県では、医療の安心は最大の課題です。重症患者の救急搬送については、平成24年度実績で、受け入れ照会4回以上が10.4%と全国ワースト2位でした。それを改善すべく、救急車にタブレット端末を導入するなどの改善を講じ、受け入れ照会4回以上を14%削減出来ましたが、搬送困難事案対策のさらなる強化に向けて、来年度は「埼玉版ER体制」を作り上げようと、重症以上の患者を3回以内の照会で受け入れる医療機関を、現在の4か所から3倍増の12か所に拡充します。また、受け入れ照会が、9回に達した場合は、選任医師によ

る搬送調整を行うこととしました。また、それらの状況を担保する為に、救命救命センター等からの転院を受け入れる医療機関に対して、補助を行うなど後方支援体制も強化して行きます。

### なかやしきの思い

これから先、顕著に高齢化の影響が出てくる本県にとって、医療の安心は最重要課題です。医師の養成にはおよそ10年かかりますので、現状の中で救急搬送の効率を上げて行くことは大変重要です。この新たな体制が鴻巣市の救急搬送時間の短縮に繋がるよう期待しています。

# 「なかやしき慎一」の提言により

～平成24年6月定例会 一般質問より～  
Q 障害者の方々にも「埼玉県体育賞」を



Q 障害者と健常者の垣根のないスポーツの普及のために、埼玉県体育賞の授与範囲を障害者の方々にも広げるべきと考えるが、ご所見を伺う。

## 前島教育長答弁要旨

障害者スポーツの振興の観点からも ノーマライゼーションの観点からも大変意義あることと考えます。表彰が障害者スポーツに関係する皆さんの一層の励みになるものと認識しております。

今後、福祉部や県体育協会とも相談しながら、どのような方法で授与範囲を広げていけるか、検討をすすめてまいります。

障害者を特別視するのではなく、一般社会の中で普通の生活が送れるような条件を整えるべきであり、共に生きる事こそノーマルであるという考え。



県教育委員会によると、平成24年9月現在、埼玉県障害者スポーツ協会が県体育協会に加盟する準備をすすめています。

加盟後、「埼玉県体育賞・優勝選手賞」の授与へとつながります。



**荣誉** 平成25年3月15日埼玉県障害者スポーツ協会が埼玉県体育協会へ加盟し、平成24年度から埼玉体育賞受賞対象団体となりました。平成24年度から26年度までに、計29名が優秀選手賞を受賞しています。

「意義のある」と教育長  
県の体育・スポーツの振興や発展に貢献し、優秀な成績を収めた選手を顕彰する「県体育賞」の授与範囲を障害者にも広げることについて、前島富雄県教育長は26日の県議会で「障害者スポーツの振興やノーマライゼーションの観点から、大変意義のあること」と積極的に推進していく考えを示した。中島教慎一議員(刷新の会)の一般質問に答えた。

団体から推薦された選手が対象で、同協会に加盟していない県障害者スポーツ協会は対象外となっている。  
前島教育長は「この表彰が障害者スポーツに関係する皆さんの一層の励みになると認識している。福祉部や県体育協会とも相談しながら、どのような方法で授与範囲を広げていけるか検討を進めたい」と述べた。  
(三七号稿)



平成24年6月27日  
埼玉新聞記事

## なかやしき慎一 プロフィール

- 昭和34年8月1日、鴻巣生まれ 55歳
- 鴻巣市立鴻巣東小学校・鴻巣中学校卒業
- 城西大学付属川越高校卒業
- 東京経済大学経営学部卒業
- (有)マルハチ石鹼工業所 代表取締役
- 1999年度(社)鴻巣青年会議所 理事長
- 平成14・15年度鴻巣市立鴻巣東小学校PTA 会長
- 平成17年度鴻巣市立鴻巣中学校PTA 会長
- 鴻巣市体育協会 副会長
- 鴻巣市硬式テニス協会 副会長
- 上尾間税会鴻巣支部 理事
- 雷電町町内会 理事
- 鴻巣びっくりひな祭り実行委員会 委員
- 鴻巣市水泳連盟 会長

**なかやしきの思い**  
多くの障害者アスリートが「埼玉県体育賞・優秀選手賞」を受賞されたこと心から嬉しく思います。来年度からは、スポーツに関する事務は、知事部局へと移管されることになっており、この動きを更に加速させていけるとおもいます。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催までに、全国に誇れる「ノーマライゼーション大県」になれるよう努力して参ります。